

1 将来像

宝の都(くに)・大崎

— ずっとおおさき・いつかはおおさき —

私たち市民は「ずっと大崎に住み続けたい」という愛着と誇りをもち続け、市外の方々からは「いつかは大崎に行ってみたい・住んでみたい」と憧れをもたれる「宝の都(くに)・大崎」を築いていきます。

そのためには、本市の多様な才能をもった人材、四季折々に彩る美しい自然、産業を支える高速交通体系や優れた研究機関といった「宝」を、市民一人ひとりが認識し、磨きをかけ、全国に発信していくことが必要です。

さらに、生き生きと躍動するまち、訪れる方々に感動を与えるまち「大崎」の新しい文化の創造と発展する都(くに)づくりを、市民・団体・企業・行政が一体となって取り組み、未来の子どもたちのために引き継いでいきます。

重点プロジェクト

1 大崎20万都市への挑戦

大崎市が積極的に人口増加に取り組む姿勢を内外にアピールし、本市の活性化の原動力として、活力ある社会を実現します。

2 おおさき産業革命の推進と一万人雇用機会の創出

雇用創出と暮らしの安定を図ることで、市民個々のライフスタイルをサポートする豊かな地域経済社会を実現します。

3 大崎市流地域自治組織の確立

「地域のことは地域の責任において決定し、責任を持つ」という分権型社会の中で、市民との協働により自立した地域社会を実現します。

I 市民が主役 協働のまちづくり

市民と行政がそれぞれに自立し、お互いがパートナーという意識付けのもと、地域やボランティア、NPOなどの各種団体・事業所・行政が役割や特徴を生かした、協働によるまちづくりを進めます。

▶ 施策の体系

1. 共に「はぐくむ」協働のまちづくり
2. 男女が共に担うまちづくり
3. 市民の生活を支える行財政改革の推進



10年後の大崎市

- 自主的にまちづくりに参加・参画している人が増えている。
- 男女が性別にかかわらず能力を発揮し、共にまちづくりを担っている。
- 安定した行財政基盤に立ち、市民に理解され納得される行政を運営している。

II 安全安心で 交流が盛んなまちづくり

防災対策の強化や災害時の対応力の向上、犯罪や交通事故の減少、差別や偏見のない社会など、日常生活における安全性を高め、安心して暮らせるまちづくりを進めます。また、暮らしの利便性の向上や地域間などの交流を促進するため、都市基盤・交通基盤の整備に取り組みます。

▶ 施策の体系

4. 円滑な道路環境の整備
5. 快適に暮らせる公共交通の充実・強化
6. 地域資源を生かした地域間交流，国内・国際交流の推進
7. 自助・共助・公助に基づく防災対策の強化
8. 機動的な消防・救急体制の充実
9. 地域ぐるみの交通安全対策の強化
10. 地域で守る防犯対策の強化
11. みんなで取り組む平和と人権の尊重



10年後の大崎市

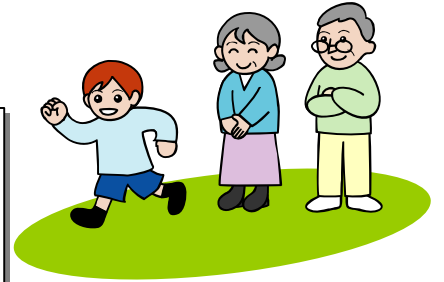
- 安全で快適な道路空間が増えている。
- 公共交通機関を利用する人が増えるとともに、交通弱者にやさしいまちになっている。
- 多くの人が訪れ、まちが活性化している。
- 災害から身を守る自助・共助・公助の体制が確立され、有事の際の備えができています。
- 火災の被害が減少するとともに、救命率が高まっている。
- 交通事故の加害者と被害者がともに減少している。
- 犯罪の加害者と被害者がともに減少している。
- 平和の尊さを市民一人ひとりが認識し、互いを認め合う社会になっている。

Ⅲ 地域の個性をいかし 豊かな心を育むまちづくり

子どもたちが自ら学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感できる教育を目指すとともに、すべての市民が優れた個性と豊かな人間性を育みながら楽しく自分を磨くことができるまちづくりを進めます。また、郷土への愛着と理解を深め、固有の歴史と文化の保存・継承に取り組みます。

▶ 施策の体系

12. 未来を担う子どもたちの教育環境の充実
13. 豊かな心を育む生涯学習の充実
14. 多彩な地域文化の継承・形成
15. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの振興



10年後の大崎市

- たくましく確かな学力をもち、心豊かな児童・生徒が増えている。
- 自主的に学習する人と学習意欲を持つ人が増えている。
- 郷土の歴史や文化を理解し、活動する人が増えている。
- 生涯にわたってスポーツやレクリエーションを楽しむ人が増えている。

Ⅳ 活力あふれる 産業のまちづくり

市民生活の豊かさや地域の活力を高めることを目指し、産・学・官の連携を推進するとともに、基幹産業である農業・林業・商工業・観光業の振興を図ります。また、産業間の連携の促進や新たな産業創造への取り組みの支援など、総合的な産業振興を進めます。

▶ 施策の体系

16. 誇りある農業の振興
17. 新たな期待に応える林業の振興
18. 活性化する商工業の振興
19. 魅力ある観光の振興
20. 安定した就労・雇用の支援
21. 総合的な産業振興の推進



10年後の大崎市

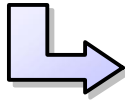
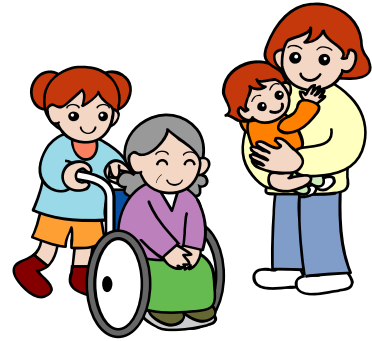
- 多種多様な高付加価値の農産物が生産・販売され、基幹産業の中心を担っている。
- 森林が適切に管理され、木材の需要が高まるなど林業の再生が進んでいる。
- 商工業が活性化し、地域の活力が向上している。
- 魅力的な観光地づくりが図られ、観光客で賑わっている。
- 関係機関や企業との連携により、市民の就労が増えている。
- 総合的な産業振興が図られ、地域経済が活性化している。

V 地域で支え合い 健康で元気なまちづくり

すべての人が地域の中で安心して生活ができるよう、社会環境や生活習慣の変化に対応できる、保健・医療・福祉の一体的なまちづくりに取り組みます。また、支援を必要とする人が孤立し、悩みを抱え込まないように「地域のきずな」を大切にしながら、「みんなで支えあう」地域づくりを進めます。

▶ 施策の体系

22. 生涯を通じた健康づくりの推進
23. 充実した地域医療体制の整備
24. 安心と生きがいのある高齢福祉の充実
25. 地域で支え合う社会福祉の充実
26. 環境の変化に対応した子育て支援の充実



10年後の大崎市

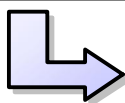
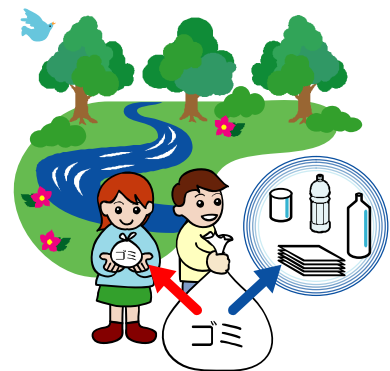
- 健康に関心を持つ人が増え、心身ともに健全な生活をしている人が増えている。
- すべての人が利用しやすく、高度で良質な医療が提供されている。
- 安心と生きがいのある充実した生活を送っている高齢者が増えている。
- 地域内で助け合いの環境が整備され、自立した生活をしている人が増えている。
- 子どもを安心して育てられると感じている人が増えている。

VI 自然と共生し 環境に配慮したまちづくり

豊かな自然や大切な資源を維持し、次世代へ継承していくことを目標に、自然環境にやさしい生活を心がけ、限りある資源を有効活用する循環型社会の構築を目指します。また、地域の特性を生かした魅力的で住み心地の良い生活空間の創出に取り組みます。

▶ 施策の体系

27. 豊かな自然環境の保全
28. 身近にふれあえる憩いの場の整備
29. 快適な生活環境の保全・整備
30. 地球にやさしい循環型社会の実現



10年後の大崎市

- 自然環境保護意識の高い市民が増え、環境が守られている。
- 身近にふれあえる憩いの場が整備され、満足して利用する人が増えている。
- 居住空間が整備され、居心地が良いと感じる市民が増えている。
- 環境への負荷の少ないライフスタイルが実践されている。

★計画期間は、平成19年度を初年度とし、平成28年度までの10年間です。

お問い合わせ 大崎市役所 市民協働推進部 政策課

Tel 0229-23-2129 Fax 0229-23-2427 e-mail: seisaku@city.osaki.miyagi.jp